

井形 進

イガタ ススム / IGATA Susumu

所属／職名

学芸調査室 学芸研究班／学芸研究班長（学芸員）

専門分野

美術史学

研究分野

九州の仏像や神像・薩摩塔などの大陸渡来石造物

【業務・研究内容】

- 福岡県を中心に九州各地で、主に信仰にかかる文化財の調査研究を行い、その成果を報告書や論文等にまとめて公にすること、展示や講座等に反映させて広く共有すること、文化財を未来へ伝えるお手伝いをするなどことを務めとしています。
- 古美術全般が担当ですが、とくに仏像や神像などの、いわゆる宗教美術が専門です。御尊像は各時代、各地域の信仰や美意識や造形技術の結晶ですので、それを通して歴史や文化について考えています。薩摩塔などの大陸渡来石造物の調査研究も行っています。
- 県内市町村や他県の文化財保護審議会委員等をいろいろ務めていて、文化財の指定や顕彰を通して保護に貢献しています。

【主要業績】

●主な著書

1. 『九州仏像史入門 太宰府を中心に』海鳥社、2019年
2. 『福岡県の仏像』（共著）海鳥社、2014年
3. 『薩摩塔の時空 異形の石塔をさぐる』花乱社、2012年

●主な論文

1. 「今津誓願寺の阿弥陀如来坐像—栄西と重源所縁の創建期本尊として—」
『九州歴史資料館研究論集』46、2021年
2. 「竈門山寺の最澄造立の檀像薬師」『市史研究ふくおか』13、2018年
3. 「大宰府式鬼瓦考—I式Aを中心に—」『大宰府の研究』高志書院、2018年

●主な担当展示

1. 特別展「九州山岳霊場遺宝—海を望む北西部の山々から—」九州歴史資料館、2021年
2. 特別展「霊峰英彦山—神仏と人と自然と—」九州歴史資料館、2017年
3. 特別展「福岡の神仏の世界—九州北部に華開いた信仰と造形—」九州歴史資料館、2014年